

【あ】

アイドリング 45

自動車が停止しており、エンジンが動いている状態をいう。不要なアイドリングは無駄な燃料が消費され、NOx等を含むガスが排出されるため大気汚染の原因となっている。

アスベスト 10・18・38/資7・41

アスベストは石綿とも呼ばれ、天然に産する繊維状鉱物で主成分はケイ酸マグネシウム塩である。耐熱性、耐磨耗性にすぐれているため、建設資材をはじめ広い用途に使用されていたが、発がん性などの健康影響を有するため、大気汚染防止法で特定粉じん指定され、発生施設に対し、規制基準が定められている。アスベストに関連があるとして確認されている疾患は、アスベスト肺、肺がん等がある。

【い】

一酸化炭素 (CO) ・9・17・35・43/資1・4・39

一酸化炭素 (CO) とは、主に燃料の不完全燃焼に伴い生成されるもので、健康影響については、血液中のヘモグロビンと結合し、頭痛、耳鳴り、吐き気等を引き起こすことが知られている。

一般環境大気測定局 (一般局) ・9・35/資1~5

地域全体の大気汚染状況を把握するための測定局で、本市では主に学校や区役所の屋上に設置している。

【う】

打ち水 81

【え】

エコアクション21 138・140

中小企業等においても容易に環境配慮の取組を進めることができるよう、環境マネジメントシステム、環境パフォーマンス評価及び環境報告をひと

つに統合した環境配慮ツール。

エコ・ステーション 46

電気自動車に電気を供給する充電設備や、天然ガス自動車に天然ガスを供給する充填設備など、低公害車に燃料を供給する設備を設置している施設。

【お】

大阪市一斉清掃「クリーンおおさか」 28・92

大阪市一般廃棄物処理基本計画 8・26・112・115/資38

大阪市環境基本計画 15・17・137・140

大阪市環境基本条例 15/資31

大阪市環境審議会 2/資55

大阪市環境表彰 28・140

大阪市環境保全推進本部 15・99

大阪市自動車交通環境計画 10・42・45・100/資33

大阪市地球温暖化対策地域推進計画 1・22・96

大阪自動車環境対策推進会議 48

大阪市市内環境保全行動計画 (エコオフィス21) 28・142

大阪市廃棄物減量等推進員 (ごみゼロリーダー) 26・119/資39

大阪市廃棄物減量等推進審議会 115

大阪市ヒートアイランド対策推進計画 4・20・80/資36

大阪市水環境計画 51/資35

大阪市役所温室効果ガス排出抑制等実行計画 96・99

大阪府道路環境対策連絡会議 48

おおさか“もったいない”宣言 115

大阪湾広域臨海環境整備センター 127

大阪湾フェニックス計画 122

近畿圏の自治体から排出される廃棄物を、長期的・安定的に、また適正に処理するために生まれ

た大阪湾埋立て事業。Ⅰ期計画として、尼崎沖と泉大津沖に埋立処分場がある（管理型区画は平成14年3月末で受け入れ終了）。現在、Ⅱ期計画として、神戸沖埋立処分場の受け入れを実施しており、大阪中に埋立処分場の建設が進められている。

オキシダント（Ox）

・・・・・・・・・・10・17・35・37/資1・5・資39

光化学オキシダントとは、光化学スモッグの主要な成分で、オゾン、アルデヒド等を主成分とする酸化性物質の総称であり、健康影響については、目や喉に対する刺激や頭痛を引き起こすことが知られている。

屋上緑化・・・・・・・・・・4・20・80・85

オゾン層・・・・・・・・・・15・100

成層圏の高さ25kmを中心としたオゾン（O₃）が高濃度に存在する層であり、太陽からくる紫外線のうち、特に生物に有害な波長を吸収している。オゾン層が破壊されると、皮膚がんが増加するといった人の健康への悪影響が生じるといわれている。

汚泥・・・・・・・・・・26・32・51・53・107

下水処理場、浄水場、工場排水処理施設において水を浄化した時に発生する泥状物質の総称。有機性のものや無機性のものなど、様々な性状のものがある。

温室効果ガス・・・・・・・・・・1・22・96

大気中の微量ガスが地表面から放出される赤外線を吸収して宇宙空間に逃げる熱を地表面に戻すために、気温が上昇する現象を温室効果という。赤外線を吸収する気体を温室効果ガスとよび、二酸化炭素（炭酸ガス）、フロン、メタンなどがある。

【か】

化学的酸素要求量（COD）

・・・・・・・・17・49・53～56/資12～14・35・44・45

Chemical Oxygen Demandの略で、水質の汚濁状況を判断する指標のひとつとして使われている。水中の有機物を化学薬品で分解するときに必要な酸素量を表しており、BODと同様、汚れがひどいほど多くの酸素を必要とするため値が大きくなる。単位はmg/Lで表される。

化石燃料・・・・・・・・・・107

動物や植物の死骸が地中に堆積し、長い年月の間に変成してできた有機物の燃料。主に石炭・石油・天然ガスがある。

風の道・・・・・・・・・・6・7・20・81

郊外から都市部へ風を誘致する風の通り道をつくることで、都市部の気温を抑えようという都市計画の考え方や手法。

活性汚泥・・・・・・・・・・52

多数の好気性（呼吸時に酸素を必要とする）バクテリア、原生動物などの生物を主体とする粘着の薄片（フロック）を含んだ汚泥をいい、有機物の吸着性、分解性に優れ、また自体も沈殿しやすいため下水の生物的処理に用いられ、この処理法を活性汚泥法という。

家電リサイクル法・・・・・・・・・・100・117

環境影響評価（環境アセスメント）制度・29・146

大規模な事業の実施にあたり、事業者自らがその事業が環境に及ぼす影響をあらかじめ調査・予測・評価し、その結果を公表して住民等の意見を聞くことにより、事業をより環境に配慮したものとするための制度をいう。

環境学習センター（生き生き地球館）

・・・・・・・・・・27・98・131/資27

環境家計簿 98・105・139

環境月間 36・135/資28

環境保健クライテリア 39

WHO（世界保健機構）の環境保健クライテリア（評価書）において、世界の都市部の一般環境中の石綿濃度は1本～10本/L程度であり、この程度であれば、健康リスクは検出できないほど低いと記述されている。

環境保健サーベイランス 79

大気汚染による健康被害を未然に防止するため、長期的かつ予見的観点をもって、地域人口集団の健康状況と大気汚染との関係を定期的継続的に観察すること。

【き】

幾何平均値 資7

幾何平均値とは、データ数がn個の場合、n個のデータを掛け合わせて、n乗根した値である。数式で表すと次のとおりとなり、比率を問題とする場合などに用いられる。

$$(\text{幾何平均値}) = (A_1 \times A_2 \times \dots \times A_n)^{1/n}$$

アスベストの測定値は、濃度範囲が著しく広く、濃度の分布が対数正規分布型となる。このような場合、変動の大きさを比率で表現した方が理解しやすいため、幾何平均値が用いられる。

揮発性有機化合物（VOC） 37・61

Volatile Organic Compoundsの略で揮発性を有し大気中でガス状となる有機化合物の総称。塗料溶剤、接着剤、インキ、洗浄剤等に含まれ、代表的な物質としては、トルエン、キシレン、酢酸エチルなど約200種類の物質がある。

急速ろ過 19・53

砂、アンスラサイトなどからなるろ過層に、一

般的にはろ過速度200～300m/日で高級処理水や凝集沈澱水を通し、その中に含まれる浮遊物を除去すること。

京都議定書 1・42

1997年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）において採択された議定書。2005年に発効。

拠点回収 8・116

キレート樹脂法 122

排水中に含まれる重金属を除去するために、キレート樹脂に重金属イオンを交換吸着させて除去する方法。

【く】

グリーン購入 25・96・142

商品やサービスを購入する際に、価格、機能、品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先的に購入すること。平成13年度から、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」が実施され、国や地方公共団体はグリーン調達に努めている。

グリーン配送 18・46

物品等の輸配送に、低公害車などの環境負荷の少ない車を使用すること。

【け】

京阪神七府県市自動車排出ガス対策協議会 18・46

「元気な大阪」をめざす政策推進ビジョン

. 1・115

嫌気好気法（嫌気好気活性汚泥法） 53

活性汚泥法の反応タンクの一部に嫌気（酸素が

存在しないか少量しか存在しない状態)部分と好気(酸素が存在する状態)部分を設け、状態の異なる部分を活性汚泥に連続して経験させることで生物学的にリンを除去する方法。

【こ】

公害 17・74・77/資25

事業活動その他の人の活動にともなって生じる相当範囲にわたる大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下及び悪臭によって、人の健康または生活環境に係る被害が生じることをいう。

高度処理 12・19・25・51・81

活性汚泥法に代表される高級処理による下水処理水の水質を、さらに向上させるために行われる処理法のこと。SS、BODをさらに除去するための急速ろ過法や、リン、窒素を除去するための嫌気好気法、担体利用窒素除去法などがある。

合流式下水道 11・19・51

汚水及び雨水を同一の管きよで排除し処理する方式。

コージェネレーションシステム 32・36

一つの燃料源から2つ以上の異なるエネルギー(電気と熱エネルギーなど)を取り出してエネルギーを効率的に利用するシステムのことで、発電に伴い発生する排熱を利用して給湯、空調等のエネルギーとして利用するシステムなどをいう。

国際環境技術センター (ITEC) 101

コプラナーPCB 66/資53

ポリ塩化ビフェニルのうち、扁平構造を有するものの総称である。ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)と類似の毒性作用を持っているため、

法律によってダイオキシン類として規制されている。

【さ】

サーマルリサイクル 117・144

ごみを焼却する際に発生する熱エネルギーを回収することにより、リサイクルを図ること。

(財)地球環境センター (GEC) . 23・101

【し】

ジクロロメタン(CH₂Cl₂)

. 64・資19・20・40・43・46・51

有機塩素系溶剤の一種。金属・機械等の脱脂洗浄剤、塗料剥離剤等に用いられるなど、洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定である。主な急性症状としては中枢神経に対する麻酔作用がある。長期吸入暴露では代謝部位である肝臓、中枢神経に影響を与える。

資源集団回収活動 8・115

自動車NOX・PM法 43

自動車排出ガス測定局 (自排局)

. 9・35/資1~5

自動車排出ガスによる大気汚染状況を把握するための測定局で、主要幹線道路沿道に設置している。

自動車リサイクル法 22・100・123・127

市民環境調査隊 28・140

循環型社会 8・111・141・142

製品等が廃棄物になることが抑制され、並びに製品等が循環資源となった場合においてはこれについて適正に循環的な利用が行われることが促進され、及び循環的な利用が行われない循環資源に

については適正な処分が確保され、もって天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。

臭気指数 37/資50・51

においのついた空気や水を、においが感じられなくなるまで無臭空気（水の場合は無臭水）で薄めたときの希釈倍率（臭気濃度）を求め、その常用対数値に10を乗じた数値のことをいう。

$$\text{臭気指数} = 10 \log (\text{臭気濃度})$$

浚渫（しゅんせつ） 51・56

港湾・河川・運河などの底面をさらって、土砂などを取り去る土木工事のこと。底質汚染を除去するためにも行われる。

省エネルギー 106

新エネルギー 24・107

「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法」において、「新エネルギー利用等」として規定されており、「技術的に実用化段階に達しつつあるが、経済性の面での制約から普及が十分でないもので、石油代替エネルギーの導入を図るために必要なもの」と定義されている。具体的には、太陽光発電、風力発電、バイオマス発電や、太陽熱、雪氷熱利用が該当する。

【す】

水準点 58/資17・18

水準点は、土地の高さを測定する場合に基準となる点のことをいい、水準点の高さは、地盤沈下の指標として用いられる。全国の水準点の高さは、東京都千代田区永田町、国会議事堂前の公園にある水準原点の値（24.414m）を基準としている。

水素イオン濃度（pH） . . 資13・14・19・43

1 L の溶液中の水素イオンのグラム当量数のこ

とで、pH7のとき、その溶液は中性であり、7より小さいときは酸性、大きいときはアルカリ性を表している。

【せ】

清掃ボランティア 92

生物化学的酸素要求量（BOD）

・11・17・19・49・53～56/資12～15・35・36・43

Biochemical Oxygen Demand の略で、水質の汚濁状況を判断する指標のひとつとして使われている。水中の有機物を微生物が分解するときに必要な酸素量を表しており、汚れがひどいほど、多くの酸素を必要とするため値が大きくなる。単位はmg/Lで表される。

洗煙排水 122

排ガス中に含まれる有害物質を除去するために設置された湿式洗煙装置から排出される排液のこと。

【そ】

総量規制 36・55・73

ある地域で排出される汚染物質を、その地域全体の総量で規制しようとする規制方式の一つである。一定地域内の汚染物質の排出総量を環境保全上許容できる限度に抑えるため、工場毎の汚染物質の許容排出量を定めて規制する方法。

【た】

ダイオキシン類

・13・17・60・64・67・121/資20～22・53

塩素を含む有機化合物質の一種で、ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシンとポリ塩化ジベンソフラン及びコプラナーポリ塩化ビフェニルの総称であり、化学物質の合成過程、燃焼過程などで非意図的に生成される。

耐容一日摂取量（T D I）・・・66/資53

長期にわたり体内に取り込むことにより健康影響が懸念される化学物質について、その量までは人が一生涯にわたり摂取しても健康に対する有害な影響が現れないと判断される体重1kg当たりの1日の摂取量。

太陽光発電・・・1・2・24・30・107

脱硫・・・37

大気中の硫黄酸化物を減少させるための方法で、その原因である燃料中の硫黄分を少なくしたり、燃焼後の排ガスから硫黄分を除去すること。

炭化水素類（H C）・・・36

炭化水素類とは、炭素と水素の化合物の総称。光化学オキシダント生成の原因となる炭化水素はメタンを除き非メタン炭化水素と呼ぶ。全炭化水素はこのメタンも含んだもの。大気中の炭化水素の発生源は自然由来以外では塗装や印刷などの溶剤の使用、貯蔵施設、自動車などである。

担体利用窒素除去法・・・53

好気槽に高密度の微生物を生息させた担体（通常3～4mm程度の立方体又は球体をした合成樹脂）を槽容積の数%の割合で投入することにより、微生物による下水中の窒素の酸化（硝化反応）速度を高め窒素を除去する方法。

【ち】

地球温暖化・・・15・44・48・96

石油や石炭の燃焼やフロン放出など人類の活動に伴い、温室効果ガスの濃度が増加し、地球全体として地表及び大気の温度が上昇すること。

窒素酸化物（N O X）・・・36・43

窒素の酸化物の総称。物質が燃焼するとき等に発生し、光化学スモッグや酸性雨などを引き起こ

す大気汚染物質である。

直接噴射式・・・資9

ディーゼル車のエンジンの燃焼室の形式の一種で、燃焼室に直接燃料噴射を行うもので、耐久性に優れ燃費もよい。しかし、窒素酸化物や炭化水素の排出量が多く、また騒音も大きい。

【て】

低公害車・・・45/資10

電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車、ハイブリッド自動車を指す。大阪市は、メタノール自動車は低公害車の対象から外し、車両総重量3.5t超のLPG車は低公害車の対象に含む。

低公害貨物自動車リース事業・・・46

ディーゼル車・・・44

ガソリンよりも揮発性の低い軽油等の燃料を使って走行する車のこと。エンジンの燃焼室の形式の違いにより、直接噴射式と副室式に分類することができる。NOx及びPMの排出量はガソリン車に比べ相当大きい。

低炭素社会・・・1

地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を自然が吸収できる量以内に削減するため、低炭素エネルギーの導入などの環境配慮システムを構築した社会。

デシベル（d B）・43/資8・11・23・24・46～49

音の強さを示す音圧レベルの単位。人間の耳の感覚は刺激の強さに比例して反応せず、刺激の強度の対数に比例するので、音の強さや音圧の尺度として対数を用い、その基準の値として最小可聴値をとったものを音圧レベルや音の強さのレベルでdBと表す。また、振動についてもdBが用いられる。

テトラクロロエチレン(C₂Cl₄)

・・・64・65/資19・20・40・43・46・51

有機塩素系溶剤の一種。ドライクリーニングのしみ抜き、金属・機械等の脱脂洗浄剤等に用いられるなど洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定である。急性毒性は目・鼻・のどなど皮膚・粘膜への刺激、麻酔作用が主である。また、慢性毒性は神経系への影響や肝・腎障害等がある。

電気自動車・・・34・45/資10

バッテリー（蓄電池）に備えた電気でモータを回転させて走る自動車。自動車からの排出ガスは一切なく、走行音も通常の自動車（ガソリン車やディーゼル車など）と比べ大幅に減少する。

天然ガス・エコステーション整備助成事業・46

天然ガス自動車・・・34・45/資10

家庭に供給されている都市ガスの原料でもある天然ガスを燃料として走る自動車。なかでも、天然ガスを気体のまま圧縮して、高圧ガス（CNG）として利用するCNG自動車が世界的に最も普及している。天然ガスは、硫黄分などの不純物を含まないクリーンなエネルギーであり、黒煙も排出されずディーゼル車と比較してNO_xの排出量も大幅に少ない。

【と】

等価騒音レベル（Leq）・・・資料11・47

一定の測定時間内で変動する騒音レベルをエネルギー的な平均値として表したものの。単位はデシベル（dB）が用いられる。

特定建設作業

・・・14・69・70・72/資23・24・49

建設作業のうちでも、特に騒音・振動による生活環境の悪化をもたらすものとして法律で

定められた作業の総称。

特別管理一般廃棄物・・・111/資26

一般廃棄物のうち爆発性、毒性、感染性等の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有している物を指す。廃エアコン、廃テレビ等に含まれるPCB使用部品や感染性一般廃棄物などがあげられる。

特別管理産業廃棄物・・・111/資26

産業廃棄物のうち爆発性、毒性、感染性等の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有している物を指す。燃えやすい廃油、著しい腐食性を有する廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、特定有害産業廃棄物（廃PCBやカドミウム等の重金属を含む汚泥など）が特別管理産業廃棄物とされている。

トップランナー方式・・・105ページ

エネルギー消費効率、現在商品化されている製品のうちで最も優れている製品をトップランナーとし、トップランナーを目標として、それよりも優れている性能を有する商品を開発するための方式。

トリクロロエチレン(C₂HCl₃)

・・・60・64・65/資19・20・40・43・46

有機塩素系溶剤の一種。ドライクリーニングのシミ抜き、金属・機械等の脱脂洗浄剤等に用いられるなど洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定である。急性毒性は皮膚・粘膜に対する刺激作用で、目の刺激、眠気、頭痛、倦怠感とともに、認知能力、行動力の低下など。慢性毒性は、高濃度において肝・腎障害が認められることがある。

【な】

中身の見えるごみ袋・・・116/資39

なにわエコ会議・・・・・・22・97・138

なにわエコライフ認定事業・・・22・98・139

【に】

二酸化硫黄 (SO₂)

・・・9・17・35/資1・3・6・39

主に石炭、石油等の燃料時に燃料中の硫黄分が酸化され発生するもの。二酸化硫黄は高濃度で呼吸器に影響を及ぼす他、酸性雨の原因物質になるといわれている。

二酸化炭素 (CO₂)

・・・2・42・44・96・97・107・139/資33

有機化合物の燃焼・分解、生物の呼吸や醗酵によってできる安定な気体。赤外線を吸収する温室効果ガスの一つであり、大気中の濃度の増加が地球温暖化の原因となっている。

二酸化窒素 (NO₂)

・・・9・17・35・45/資1~3・6・39

二酸化窒素 (NO₂) とは、主に重油、ガソリンなどの燃焼時に生じる一酸化窒素 (NO) がさらに酸化されたものをいう。低い濃度の二酸化窒素を長い間吸入した場合は、咳や痰が出るなど呼吸器に影響を生じ、高い濃度になると数時間の内に鼻や喉さらには胸の痛み、呼吸が困難になることもある。また、酸性雨および光化学オキシダントの原因物質になるといわれている。

【の】

ノーポイモデルゾーン・・・・・・91

ノーマイカーフリーチケット・・・・・・18

毎月20日のノーマイカーデー（20日が日曜日又は祝日の場合は21日、20日及び21日が日曜日又は祝日の場合は22日）と毎週金曜日に、市営交通（地下鉄・ニュートラム・バス）を

600円で利用できる1日乗車券のことで、チケットを見せることにより大阪城などの文化・観光施設の当日入場料が割引になる。

【は】

ばい煙・・・・・・36

大気汚染防止法で、次のものをばい煙と定められている。

- ①燃料その他の物の燃焼に伴い発生する硫黄酸化物
- ②燃料その他の燃焼または熱源としての電気の使用に伴い発生するばいじん
- ③物の燃焼、合成、分解、その他の処理に伴い発生する物質のうち、「カドミウム及びその化合物」、「塩素及び塩化水素」、「フッ素、フッ化水素及びフッ化ケイ素」、「鉛及びその化合物」及び「窒素酸化物」

排出量取引・・・・・・1

あらかじめ国や自治体、企業などの排出主体間で排出する権利を決めて割り振っておき、権利を超過して排出する主体と権利を下回る主体との間でその権利を売買することで全体の排出量をコントロールする仕組み。

ハイブリッド自動車・・・・・・18・34・45/資10

エンジンとモーターの2つの動力源をもち、それぞれの利点を組み合わせて駆動することにより、低公害や省エネルギー化を図った自動車。

バラストマット・・・・・・71/資24

バラストとは、線路に敷く小石や砂利のことで、そのバラストの下にゴム状のマットを敷くことによって、さらに振動を防ぐことができる。

【ひ】

ヒートアイランド・・・・・・4・20・80・83/資36

都市活動に伴うクーラー等の排熱や地表面のコンクリート化等により、都市の気温が郊外と比べて高くなる現象。等温度線を描くと、温度の高い

ところが島のように出現するので、ヒートアイランド（熱の島）と呼ばれている。

美化強化デー 92

微小粒子状物質（PM2.5） 37

浮遊粒子状物質（SPM）のうち、粒径2.5 μm（0.0025mm）以下の粒子状物質の総称。

SPMより粒子の大きさが小さいため、肺の奥深くまで届いて沈着しやすく、呼吸器系統への影響の他、肺がんや循環器疾患の原因になるとされている。平成21年9月、わが国において環境基準が設定された。

美フレッシュ大阪月間 92

非メタン炭化水素 36/資5

光化学オキシダント生成の原因となる炭化水素で、光化学的に不活性なメタンを除いた炭化水素を非メタン炭化水素と呼ぶ。人為的な発生源は塗装や印刷などの溶剤の使用や貯蔵施設、自動車などである。

【ふ】

富栄養化 55

水の流れが少ない閉鎖性水域で、栄養塩類である窒素、リンなどが流入し、プランクトンなどの異常発生がおこる現象のこと。

副室式 資9

ディーゼル車のエンジンの燃焼室の形式の一種で、主燃焼室とは別に副燃焼室を持ち、両燃焼室間の絞りを通過するガスの移動を利用して攪拌混合する方法で、構造が複雑なため、直接噴射式に比べて耐久性や燃費は悪い。しかし、直接噴射式に比べて、窒素酸化物や炭化水素の排出量が少なく、また騒音も小さい。

浮遊物質（懸濁物質）（SS）

. 19・51・53～56/資13・36・43

水中に浮遊懸濁している微小固形物質で、水の濁度（濁りの程度を示す指標）BOD・CODが高くなる原因になる。

浮遊粒子状物質（SPM）・17・35・45/資39

大気中に浮遊している粒子のうち、粒径10 μm（0.01mm）以下のもので、工場・事業場及び自動車等から発生される人為的なもののほか、土壌粒子等自然に由来するものが含まれている。

プラント排水 122

ごみ処理施設においては、主にごみを焼却した後の燃えがらを冷却するために使用した水のこと。（その他各機器の洗浄水も含まれる。）

フロン 22・100

フロンは、フッ素と炭素からなる化合物の総称で、正式名称はフルオロカーボンという。特に塩素の入ったものをクロロフルオロカーボンとよんでいる。安定していて人体に害が無く、不燃性のため、エアコンや冷蔵庫の冷媒、電子部品などの洗浄剤、発泡剤などとして大量に使用されてきた。しかし、フロンガスがオゾン層を破壊することがわかり、日本では1996年以降はクロロフルオロカーボンは生産されていない。

粉じん 37/資7

ばいじんが燃料の燃焼、電気炉の使用等に伴って発生する「すす」、「灰分」等の物質を指すのに対し、粉じんは、物の破砕、選別その他の機械的処理または堆積に伴って発生し、また飛散する物質を指す。

分別収集 116

【へ】

ベンゼン(C₆H₆)

・ ・ ・ 44・61・64・65/資20・40・43・51

常温常圧のもとでは無色透明の液体で独特の臭いがあり、揮発性、引火性が高く、かつては工業用の有機溶剤として用いられていた。また、自動車用のガソリンに含まれ、自動車排出ガスからも検出される。皮膚からも吸収され有害作用を及ぼすこともあり、長期間の接触では、造血組織、肝臓、免疫系への影響が起り得る発がん性物質である。

ベントナイト安定液 ・ ・ ・ ・ ・ 72

土木工事等において、掘削時に掘削面の崩壊を防ぐために使用する、ベントナイト（粘土鉱物）を混入した液体。

【ほ】

ポイ捨て防止キャンペーン ・ ・ ・ ・ ・ 91

保水性舗装 ・ ・ ・ ・ ・ 5・20・80

道路の表層に保水性の舗装剤（吸水性ポリマーやマイクロ単位の粒子の鉱物質微粉末など）を採用した舗装のことで、そこに蓄えられた雨水を蒸発させ、路面の温度を下げる機能を有する。ヒートアイランド現象の影響を小さくすることができる。

ポリ塩化ビフェニル（PCB）

・ 19・49・57・124・126/資14・19・43・45・46・51

PCBは不燃性で化学的にも安定であり、熱安定性にも優れた物質で、絶縁油、熱媒体等広い用途に使用されていた。カネミ油症事件の原因物質であり、中毒症状として、目やに、爪や口腔粘膜の色素沈着、座瘡様皮疹（塩素ニキビ）、爪の変形、まぶたや関節のはれなどが報告されている。

【ま】

まち美化パートナー制度 ・ ・ ・ ・ ・ 28・92

マニフェスト（産業廃棄物管理票）システム・123

産業廃棄物を排出する事業者が「産業廃棄物」及び「特別管理産業廃棄物」の処理（収集・運搬又は処分）を他者に委託する際に、産業廃棄物の名称・数量・運搬業者名・処分業者名等を記載する伝票（マニフェスト）を使用して、廃棄物の流れを自ら把握・管理して産業廃棄物が最後まで適正に処理されたことを確認するための制度。

ミスト散布 ・ ・ ・ ・ ・ 7・80

緑のカーテン・カーペット ・ ・ ・ ・ ・ 6

緑のカーテンはゴーヤや朝顔などのつる性植物を建物の壁面や窓の前で育てることによって、また緑のカーペットは高温・乾燥といった悪条件の下でも成長する葉の面積が大きいサツマイモを栽培することによって、日射をさえぎり建物の高温化を抑える。

モニタリング

・ ・ ・ ・ 20・39・59・64・79・80/資19・20・37・41

監視・追跡のために行う観測や調査のこと。継続監視とも言われる。

【ゆ】

有害大気汚染物質 ・ ・ ・ ・ ・ 64/資20

低濃度であっても長期的な摂取により健康影響が生ずるおそれのある物質のことをいい、該当する可能性のある物質として234種類、そのうち特に優先的に対策に取り組むべき物質（優先取組物質）として22種類がリストアップされている。

【よ】

溶融スラグ ・ ・ ・ ・ ・ 26・53・110

下水汚泥を1400℃近い高温で溶融したものを冷却し、固化したもの。大阪市では水で急激に冷却し粒子の細かな砂状のスラグにしている。

他に廃棄物の焼却灰等を元にした溶融スラグがある。

溶存酸素（DO）・50・56/資13～15・43・44

水中に溶けている酸素量をmg/Lで表したものであり、数値が大きいくほど水中の酸素量も多い。溶存酸素は水域の自浄作用や水中の生物にとって不可欠なものである。

ライトダウンキャンペーン・・・3・22

粒子状物質（PM）・・・43

Particulate Matterの略称。固体及び液体の粒子を総称して粒子状物質と呼んでおり、ばいじん、粉じん、ミストなどのほかに、大気中で二次的に生成する硫酸ミスト等のエアロゾルも含まれる。なお、粒子の大きさが2.5μm以下の粒子を一般的にPM2.5という。

【ろ】

六大都市自動車技術評価委員会・・・48

路上喫煙対策事業・・・92

【数字】

3R・・・119/資38

Reduce（リデュース）廃棄物の発生抑制、Reuse（リユース）再使用、Recycle（リサイクル）再生利用…の総称

3W処理法（雨天時活性汚泥法）・・・12・52

雨天時に流入する下水の一部を反応槽の最終槽に流入させ、少しでも多く処理するための方法。

【A】

A T Cグリーンエコプラザ・・・141/資28

【B】

BOD・・・生物化学的酸素要求量の欄を参照

【C】

C A S B E E・・・20・80・150

（建築物総合環境性能評価システム）建築物の環境性能で評価し格付けする手法。省エネや省資源・リサイクル性能といった環境負荷削減の側面はもとより、室内の快適性や景観への配慮といった環境品質・性能の向上といった側面も含めた、建築物の環境性能を総合的に評価するシステム。

CDM/J I・・・101

CDM（クリーン開発メカニズム）とは、先進国（投資国）の資金・技術支援により、開発途上国（ホスト国）において温室効果ガスの排出削減につながる事業を実施した場合、その排出削減量に対してCER（クレジット）が発行され、先進国はCERを自国の排出削減目標達成に用いることができる制度。J I（共同実施）とは、先進国間の国際協力のもとで温室効果が削減プロジェクトを実施した場合に、ホスト国側が排出削減量に見合うERU（クレジット）を発行し、投資国側がERUを自国の排出削減目標達成に用いることができる制度。CDM、J Iのいずれも京都議定書に基づく制度（京都メカニズム）

CO・・・一酸化炭素の欄を参照

CO₂・・・二酸化炭素の欄を参照

COD・・・科学的酸素要求量の欄を参照

COP（気候変動枠組条約締約国会議）・・・1

大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを目的とした国連気候変動枠組条約に基づき設置された会議。1997年に京都で開催された第3回締約国会議において、先進国全体で二酸化炭素換算の総排出量を1990年に比べて約5%削減を定めた京都議定書が採択された。

【D】

d B **デシベルの欄を参照**

DO **溶存酸素の欄を参照**

【E】

ESCO事業 **20・81・105**

Energy Service Companyの略称。工場やビル等の施設に対し、省エネルギーに必要な技術、設備などの包括的なサービスを提供し、そこから生じる光熱水費等のメリットの一部を経費の一部として受け取る事業。

【G】

G E C **(財) 地球環境センター欄参照**

【H】

H C **炭化水素類の欄を参照**

【I】

I P C C (Intergovernmental panel on Climate change: 気候変動に関する政府間パネル) **1**

国連環境計画 (UNEP) 及び世界気象機関 (WMO) により1988年に設立された政府間機関。世界各国の研究者の参加のもと、地球温暖化に関する化学的・技術的・社会経済的な評価を行い、得られた知見を政策決定者をはじめ広く一般に利用してもらうことを任務としている。

I S O 14001 **15・28・143**

環境マネジメントシステムの国際規格。組織が、自らの活動、製品及びサービスが環境に与える影響を低減するよう配慮し、その改善を継続的に進めていくための環境管理のしくみ (環境マネジメントシステム) を構築するための仕様 (要求事項) を定めたもの。

【J】

J I C A (国際協力機構) **23・102**

1975年、海外技術協力事業団と海外移住事業団等の業務統合により設立された。開発途上国に対して技術・開発協力、人材養成などの支援・協力事業を行っている。

【L】

LEV-7 **46**

「京阪神七府県市自動車排出ガス対策協議会」が、市販自動車のなかでも、より窒素酸化物等の排出量が少ない自動車をメーカーから募集し、排出ガス値が指定基準以下と認められた自動車を「LEV-7」(京阪神七府県市指定低排出ガス車；レブセブン) として指定している。

指定基準は、NOx等の排出量について、国が定める平成17年基準の排出ガス規制値より75%削減したものを17ULEV、50%削減したものを17LEVの2段階で区分。平成12年基準の排出ガス規制値より75%削減したものをULEV、50%削減したものをLEV、25%削減したものをTLEVの3段階で区分している。

L e q **等価騒音レベルの欄を参照**

L P G車 (L P ガス貨物車) **45/資9**

液化石油ガスを燃料としてエンジンを駆動して走行する自動車。黒煙を排出せず、ディーゼル車と比べてNOxの排出量も大幅に少ない。

【N】

NO₂ **二酸化窒素の欄を参照**

NOx **窒素酸化物の欄を参照**

【O】

Ox **オキシダントの欄を参照**

【P】

PCB・・・ポリ塩化ビフェニルの欄を参照

pH・・・・・・・・水素イオン濃度の欄を参照

PM・・・・・・・・粒子状物質の欄を参照

PM2.5・・・・微小粒子状物質の欄を参照

PRTTR制度・・・・・・・・13・65/資54

PRTTR (Pollutant Release and Transfer Register)は、有害性のある多種多様な化学物質が発生源からどのように、どれだけ環境中へ排出したか、あるいは廃棄物として移動したかというデータを把握し集計、公表するしくみで、平成11年7月に「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTTR法)が制定され、平成13年4月から施行されている。

【R】

RDF (ごみ固形燃料)・・・・120

Refuse Derived Fuel の略で、ごみから、紙や木などの可燃物を分別し、粉碎・圧縮・乾燥して固形燃料化したもの。

【S】

SO₂・・・・二酸化硫黄の欄を参照

SPM・・・・・・・・浮遊粒子状物質の欄を参照

SS・・・浮遊物質(懸濁物質)の欄を参照

【T】

TDI・・・・・・・・耐容1日摂取量の欄を参照

TEQ (毒性等量)・・・・66/資20~22

ダイオキシン類は種類が多く毒性の強さがそれぞれ異なる。このため、ダイオキシン類による毒性の強さを表す方法として、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンを基準として換算した量のこと。

【U】

UNEP (国連環境計画)・・・・101

1972年に設立された環境保護を活動内容とする国連機関。事務局はケニアのナイロビにあり、国連諸機関の環境活動に対して総合的な調整管理を行う。

【W】

WECPNL (うるささ指数)・資23~24・48

航空機騒音の評価方法で航空機騒音の特異音や継続時間の違いによる、うるささの差異及び時間帯によるうるささの差異を補正した評価単位である。

重さの単位

kg(キログラム)	10 ³ g
g(グラム)	
mg(ミリグラム)	10 ⁻³ g(千分の1グラム)
μg(マイクログラム)	10 ⁻⁶ g(100万分の1グラム)
ng(ナノグラム)	10 ⁻⁹ g(10億分の1グラム)
pg(ピコグラム)	10 ⁻¹² g(1兆分の1グラム)

濃度の単位

ppm(parts per million)
100万分の1を1ppmという。
大気汚染物質の場合は、空気1m³中に物質が1cm³含まれることを表わしている。なお、大気中の炭化水素類については、炭素原子数で換算した値ppmcで表わす。

ppb(parts per billion)
10億分の1を1ppbと表わしている。
1ppmの1000分の1表わしている。

ppt(parts per trillion)
1兆分の1を1pptと表わしている。
1ppbの1000分の1表わしている。

